

ふるさとの地名編

稲吉

現在のデータ
上稲吉・下稲吉
地番。下稲吉は
住居表示後、下
稲吉・稲吉・稲
吉東・稲吉南の
4つに分かれた。



日本武尊の寝床を作った稲吉
かすみがうら市のほぼ中央部に「稲吉」があります。「稲吉」が史料に初めて登場するのは、常陸国府の官人であった税所氏が保管していた「常陸国作田惣勘文案」【弘安2年(1279)に作成された常陸国の土地台帳】で、「ここに米吉(読み不明)という地名が登場し、これが「稲吉」と考えられています。これによると「米吉」は、当時府中(石岡市)の関係者の所領ということが分かります。
では、なぜこの地域を稲吉と呼び始めたのでしょうか。
時は古墳時代の初めの頃(4世紀)、景行天皇の子の日本武尊が東国を巡幸されていました。日本武尊は、房総半島より常陸国へ道を進められ、内海の霞ヶ浦から、入り江となっていた荒張川(天の川)へと船



日本武尊が寝床をとったとされるあたり(香取神社 現：下稲吉)

上佐谷小学校

本校は、教育目標を「自ら学び、地域と共によりよく生きる子どもを育てる」として、少人数のよさを最大限に生かした教育を進めています。特に、地域を生かし地域の中で体験的な学習を通して豊かな学びと豊かな心の育成を目指しています。



■学力向上に向けて

本校は、複式学級の実態をふまえ、「自ら学ぶ力」「仲間と共に学ぶ力」を付けることで学力向上を目指しています。特に算数科を中心に、学習リーダーの活躍、学習ルールの確立など、自立型の学習が展開されています。複式学級を前提とした取り組みではありますが、単学級での学習指導にも生かせる部分が多く、昨年度の研究発表会では好評を

いただきました。全職員一丸となつて、確かな学力を身に付けた子どもへの育成に取り組んでいます。

■自然体験学習を通して

地域の方から野草について教わりながら、学区内の山野を歩き、野草を観察したり、採集した物の中から食べられる物を天ぷらにして食べたりしています。生まれ育った地域の自然の豊かさを知ることができるとともに、地域の方との交流、縦割り活動での役割分担、自然から食物を手に入れ、料理する体験など、たくさんの方々の基本的な生活習慣の実践の場が用意されています。何気ない雑草の隙間に見つけるワラビや、イノシシが地面を掘った跡など自然のさまざまな姿に出会えます。



みんなで考えるのは楽しい！

■地域から学ぶ

地域で養蚕業を営む方と交流し、体験的な学習を通して養蚕について学んでいます。蚕の飼育や繭からの糸とり、繭を活用した作品作りなどを体験し、その過程で生まれる課題を解決したり、先人の知恵を知ったり、生産の喜びを感じたりしています。数年前から卒業式で保護者、卒業生が胸に付けるコーサージュを6年生が繭で自作しています。本年度は入学式の新入生のコーサージュも昨年度に5年生が自作した物を使用しました。



繭の美しさにびっくり！

■ちよだ太鼓の響き

3～6年生は、総合的な学習の時間に「ちよだ太鼓」を通して地域学習に取り組んでいます。地域の伝統文化の継承は、地域の方の期待も大きく、保存会の方との練習は、緊張感のある真剣なものです。

■PTA活動も充実

全保護者が家庭教育学級に参加し、親子での学習や運動を楽しんでいます。また、夏休みにはPTAが中心となって、地域の子どもたちを迎え、納涼会を開催するなど、健全な子どもへの育成に意欲的に取り組んでいます。



音を合わせて！ドン・ドコ・ドン

また、7年目を迎える継続的な取り組みにより、子どもたちには気持ち一つにそろえ、互いの音を響かせ合うという和太鼓の和のリズムが浸透し連帯感も育っています。上級生が下級生に教える姿も当たり前のように行われ、練習の成果を市の音楽会で発表したり、昨年度は生涯学習フェスティバルやかすみがうら祭で出演を依頼され、力強い演奏を披露したりしました。

文芸ひろば

俳句

葉桜となりし校庭子らの声
花の雨別れを告げるクラクション
曲り家の棟ははれと鳥交る
そこはかと真砂女の色香紫木蓮
ひそやかな風に牡丹の布を解く
風を呼び光と遊ぶ権若葉
万緑や山ゆるやかに裾重ね
さみどりのペールまとへる田の面かな
成島利男(下稲吉)
枝力(稲吉)
萩原初枝(上土田)
江崎慶子(稲吉東)
石塚文子(牛渡下郷)
折本アイ子(鹿ノ山)
萩原とし子(南根本)
松葉ふみ(内加茂)

短歌

舗装路の僅かの裂け目に振摺のひととへ小さく風の生れたり
路の薑凍て土割りてほつこりと生れ春呼ぶ雑草のかけ
霞浦昏れて湖畔わびしき枯蓮田人影もなく肅々と風
三度目の帝王切開せし娘男の子生まれて母子とも元氣
夕あかり窓より見つむ真白なる辛夷の花の挙り咲きをり
満開の白木蓮に夕焼けのほんのり紅の映えしひととき
学校の土日の休み孫達は朝寝坊する楽しみ覚えて

的場トシ子(上土田)
目黒しづ子(稲吉東)
遠藤富重(下稲吉)
大西周(稲吉東)
小室貞江(西成井)
佐藤千代(宍倉)
名倉親子(下大堤)